

＼プラスチック・スマート／ プラスチックとの 賢い付き合い方



今日からできる**グッドアクション!**

軽くて丈夫で、加工がしやすいことなどから、身の回りの多くの製品にプラスチックが使われています。わたしたちの暮らしに欠かせない便利なプラスチックですが、大量に使われ捨てられるプラスチックごみは、実はさまざまな悪影響を及ぼすごみとして、問題となっています。

持続可能な社会の実現を目指して
プラスチックと賢く付き合きましょう!!



プラスチックごみ問題とは...

プラスチックの原料である石油は、採掘やプラスチックごみを焼却するときに温室効果ガスが発生するため、地球温暖化の原因となります。また、資源としての制約や、海に流出して紫外線や波の影響でマイクロプラスチックになることで海洋汚染の原因となり、生態系への影響もあるとされています。

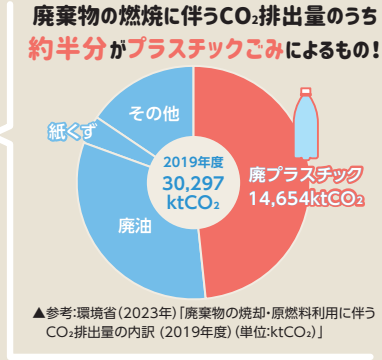
日本のプラスチックごみの排出量は、年間**823万トン**(2022年)^{※1}

これは、世界中で1年間に流出されている海洋プラスチックごみ^{※2}とほぼ同じ量です。
また、廃棄物を燃やす際に発生するCO₂のうち、約半分がプラスチックごみ^{※3}によるものとなっています。

※1 一般社団法人プラスチック循環利用協会(2023年) ※2 世界自然保護基金WWF(2018年) ※3 環境省(2023年)「資源循環分野におけるカーボンニュートラル」

1. 地球温暖化

プラスチックが燃やされる際、地球温暖化の原因となる温室効果ガスが発生します



2. 海洋汚染

プラスチックごみは海洋汚染の原因となり、景観を損ねるだけでなく生態系に影響を与えるとされています

日本のプラスチックごみの排出量は
世界全体の海洋プラスチックごみの量と
ほぼ同じ!!

(2022年) 約**823万トン** (年間)
約**800万トン** (年間)

▲参考:環境省(2024年)「プラスチック資源循環法の概要と最近の動向」

できている
項目に
チェックしよう

今日からできる グッドアクション!

あなたができていないことは、どんなことでしょうか。
「便利だから」「安価だから」という考えだけでなく
「ごみが増えるかも」「これ必要な?」という
意識を持つことがポイントです!!

買い物時には
マイバック

Reduce

詰め替え商品を
購入

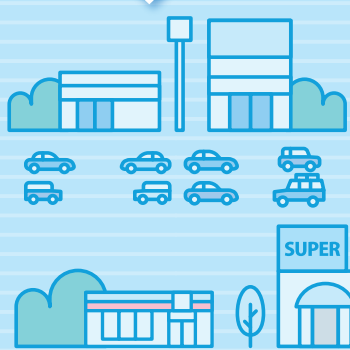
Reduce

ラップの利用を
減らす

Reduce

いらない使い捨て
プラスチックを断る

Reduce



過剰な
包装は断る

Reduce

マイボトルや
マイカップを利用

Reduce

環境に優しい
製品を選ぶ

Renewable

プラスチックごみの削減に向けて

こうした問題を受けて、わたしたちの生活の中でも、プラスチックごみを削減するためのさまざまな取り組みが行われています。

対策の基本は プラスチックごみの **3R+Renewable**

**リデュース
Reduce**
排出を抑制しごみを減らす



レジ袋や提供スプーンの有料化など

**リユース
Reuse**
繰り返し何度も使う



テイクアウトやデリバリーのリユース容器の使用など

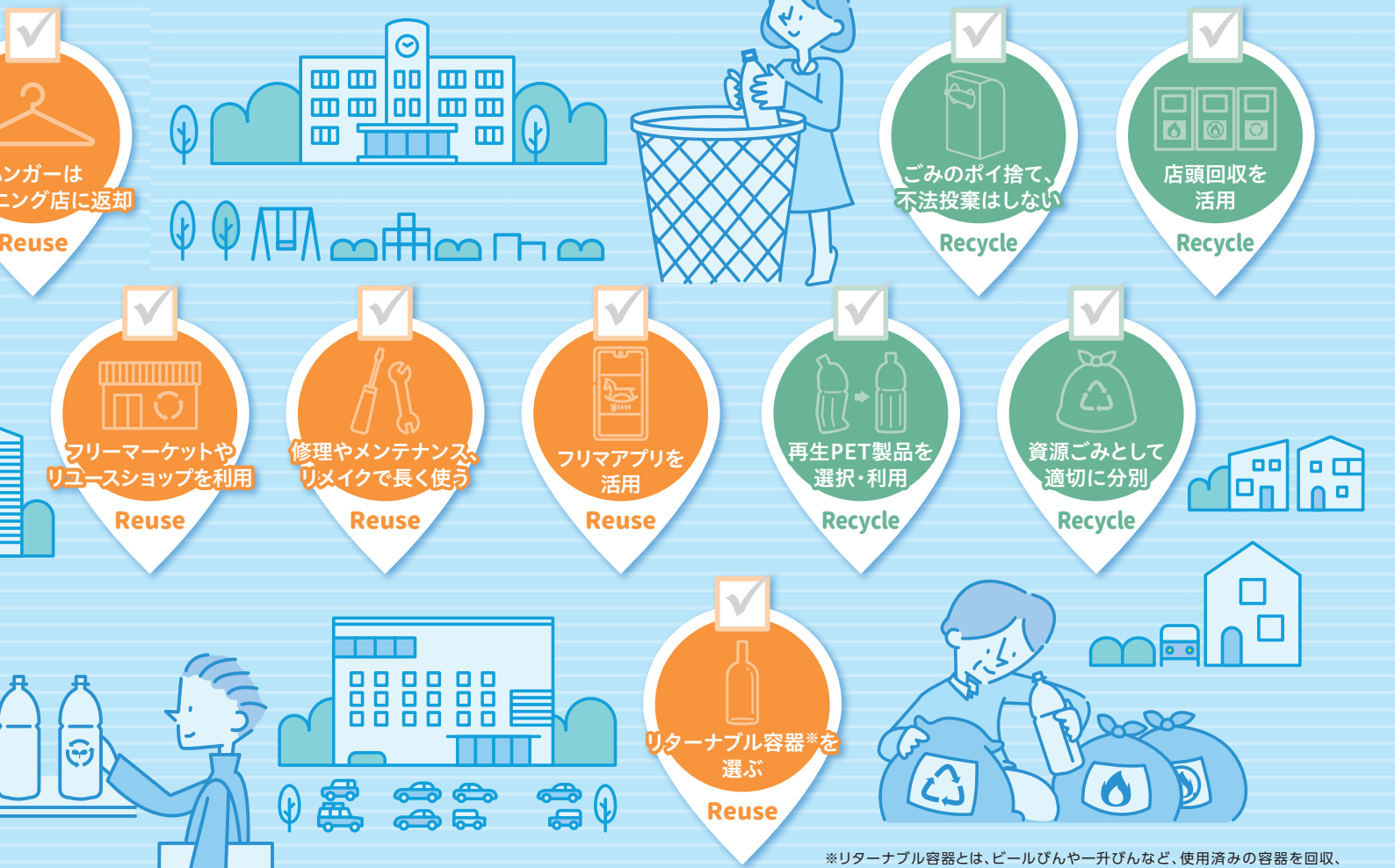
**リサイクル
Recycle**
資源として再利用する



ペットボトルやプラスチック製品の回収ボックスの設置など

**リニューアブル
Renewable**

プラスチック製品の原料を、再生素材や再生可能資源(紙やバイオマスプラスチック等)に切り替える
バイオマスプラスチック製品 など



※リターナブル容器とは、ビールびんや一升びんなど、使用済みの容器を回収、洗浄して繰り返し使用が可能な容器のこと。

プラスチック資源循環促進法

2019年5月に「プラスチック資源循環戦略」が策定され、その目標を達成するため、2022年4月に「プラスチック資源循環促進法」が施行されました。事業者、自治体、消費者が相互に連携して、プラスチックの排出抑制や資源循環に取り組むことが求められています。

プラスチック資源循環戦略(2019年5月策定)

3R+Renewableを基本原則とし、以下のマイルストーン(中間目標)が掲げられました。

2030年
までに

- ワンウェイ(使い捨て)プラスチックを累積25%排出抑制
- 容器包装の6割をリユース・リサイクル

2035年
までに

- 使用済みプラスチックを100%リユースやリサイクルなどで有効利用

プラスチック資源循環促進法(2022年4月施行「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」)

県民(消費者)の皆様

- 1 プラスチックごみの排出を抑制する
(プラスチック製品をなるべく長期間使用する、過剰な使用を抑制する、など)
- 2 プラスチックごみを適切に分別して排出する
- 3 プラスチックのリサイクル製品を使用する

などの努力義務が定められています。



事業者の皆様

- 1 プラスチックごみの排出を抑制する
(スプーン・フォークやハンガーの提供などプラスチック製品の使用の合理化)
- 2 プラスチックごみを適切に分別して排出する
- 3 プラスチックの自主回収やリサイクルを行う
- 4 環境に配慮したプラスチック製品の設計を行う

などの努力義務が定められています。



香川県の取組み

国の政策を受けて、香川県でも県民や事業者に向けた取組みを行っています。香川県が実施する取組みに参加してプラスチック資源の循環について一緒に考えてみませんか。

普及啓発活動

香川県では、

- 1 暮らしのセミナー・環境キャラバン隊などの出前講座
 - 2 かがわ未来へつなぐ環境学習会などの環境イベント
- などを通じて、プラスチックの3R推進に取り組んでいます。



表彰・認定制度

県民・事業者の皆様

かがわプラスチック・スマート大賞



プラスチックごみの削減やリサイクルの促進に向けて、優れた取組みを実施している個人や企業、学校、団体等を募集・表彰しました。

受賞者の取組み

- 給水機の設置によるマイボトル推進活動
- バイオマス原料を使用した新商品開発
- リサイクル繊維の衣類販売や古着交換 など

詳細は
こちら



事業者の皆様

かがわプラスチック・スマートショップ 通年募集



プラスチックごみの削減やリサイクルに取り組んでいる小売店や飲食店等を募集・認定し、その取組みを広く紹介しています。

認定ショップ
285店舗(2024年3月現在)

認定ショップの取組み

- 県内40店舗でのペットボトル回収機の設置
- プラスチック使用量を削減したスプーンの提供
- マイボトル・マイ容器の持参客への値引き など

詳細は
こちら

